

那覇軍港の将来のまちづくりに向けて **情報誌**

発行：那覇市 総務部 平和交流・男女参画課 那覇軍港総合対策室

協力：那覇軍用地等地主会

今年度実施しました「次世代の会」の活動概要を報告します。

那覇軍港のまちづくりを考える次世代の会による **歴史資源・文化資源の活用検討**

今年度は、歴史資源・文化資源を那覇軍港のまちづくりにどの様に活用できるのか、意見交換やフィールドワーク、視察を通して活用アイデアを検討しました。

次世代の会とは

垣花出身の次の世代が集まり、地権者の先達の皆さまが活動していることを引き継げるように、早い段階から将来の那覇軍港のまちづくりを考える準備をしている組織です。

歴史・文化資源の活用の考え方

- 現存する歴史資源は、人が集まるきっかけ（目的物）として活用できないか？
- 歴史ある陸路と海路は、那覇軍港に人を導くための導線として活用できるだろう！
- 代表的な歴史資源は、域内の周遊を促すきっかけとして活用できないか？
- 沖縄産業発祥の地として、新産業創造の場というブランド構築できるのではないか？



駐留軍用地関係地権者等の若手組織の合同意見交換会

将来のまちづくりにおける連携・協力を目指し、「チームまきほ21」（牧港補給地区における若手組織）と「普天間飛行場の跡地を考える若手の会」（普天間飛行場における若手組織）と合同で意見交換を行いました。



先進地視察

日程：平成30年10月25日（木）～27日（土）2泊3日
行先：横浜みなとみらい21、臨海副都心（台場地区）

那覇軍港の将来のまちづくりとして、「交流・交易」や「ウォーターフロント」がキーワードとして挙げられていることを踏まえ、先駆けである「横浜みなとみらい21」を中心に視察しました。

■横浜市みなとみらい21の概要

横浜みなとみらい21は、高水準のインフラが整備され、歴史やウォーターフロントの景観を活かした街並みの形成など、快適なビジネス環境を備えた街として、年間7,900万人が訪れ、10万5000人が働く、首都圏を代表する街として成長を続けています。

今後も、業務、商業の集積が図られるとともに、開港都市としての歴史や文化の資源を活かしながら、文化芸術活動による都市の活性化を目指し、創造的産業や人材の集積を図るための都市環境の形成が目指されています。

■視察から得た主な知見

にぎわい創出のためには、昼も夜も、平日も休日も、常に人を集めることのできる機能の導入が重要となる



人々が往来するまちとするためには、歩くのが苦にならない仕掛けや歩行者と自動車の動線の分離が重要となる



周辺地域との連携によって相乗効果が生まれる



歴史資源を活用したまちなみデザインや景観に配慮した建物の誘導は、まちの魅力を高める



「がじゃんびら通信」の内容及び那覇軍港跡地利用に関するお問い合わせ・ご相談

那覇市 総務部 那覇軍港総合対策室 担当：濱川、又吉（明彦）、知花
TEL：098-861-6906 FAX：098-861-4092
E-mail：S-HEIDAN001@city.naha.lg.jp

那覇市 軍港

検索

